

平成28年度 1学期 終業式 式辞

校長 三浦 裕

みなさん、おはようございます。

3名の発表者の皆さん、それぞれが1学期を振り返って、(頑張ったところ、これから努力しなければならないところ・目標など)しっかりした発表態度と内容で発表してくれました。コメントを最初にさせてください。

最初に、1年生の樋口 京香(きょうか)さんです。2つの掲げた目標について話してくれました。集団や自己の成長に大切な「時間を守る」ことができるよう、自ら3分前着席の声かけを果たしたこと、また部活動では、毎日の練習を継続して大事にし、今年から始まる1年生のコンクールに向けた決意、そして3年生の先輩と活動する1秒1秒を大事したいという謙虚で向上を目指す決意は素晴らしいと思いました。さらに2学期への目標では、「文武両道」をめざし、仲間への感謝を持ち、合唱祭はじめ行事等に取り組み、「日本一、仲間を大切にできる1年生へ」という学年へと「全体への思い」「さらに自分を活かそうとする心は大切であり、期待しています。

2年生の吉岡駿(しゅん)さんは、勉強・委員会活動・体育祭3つの振り返ってくれました。どれも成果につながったようですが、その要因は、黄金サイクルを自身でやり遂げたこと、チャイム席・あいさつ運動の呼びかけを行ったこと・みんなで力を入れて「八の字跳び」に取り組んで10点をとれたなど自分が決めたこと等、何事も続ける大切さ、みんなが心をつなげて協力する大切さを学んだとの事です。

最後に3年生の松尾 美季(みき)さんです。勉強と部活の2点についてこれまでの反省をしてくれました。特に集中力が欠けたという自分自身を見つめ、この後の県大会そして進路へ新たな決意をしています。普段からぶれない、コツコツと地道に取り組むこと、これは、とても大切なことです。このことを重ねてこそ自己実現につながり、感謝の気持ちを

伝えられる生き方になるのではないでしょうか。

ぜひ、生徒一人一人も3人の素晴らしい発表を聞き、自分自身を振り返り、新たな目標のもと取り組んでいきましょう。

〈式辞〉

時のたつのは早いものです。本日で1学期が終了します。

皆さんは、この1学期の間に大きく成長しました。皆さんの成長を振り返るとともに、これから始まる夏休みの過ごし方、飛躍に向けて考えてみましょう。

まず、1年生は初めての中学校生活、2年生は大沼中の心臓として、3年生は大沼中の「顔」として決意と自覚を持つての1学期でしたが、どうだったでしょう。

大沼中では、「(主体性)すなわち、自分から考え・判断し、すすんで行動する力、(協働性)すなわち、仲間や人と協力して課題解決できる力」の育成を学習や様々な活動で重視し、取り組んでいます。学習面では、皆さん自身の「黄金サイクル」の取組です。そして、様々な活動として、最大に発揮されたのが、全校で取り組んだ「体育祭」でした。体育祭実行委員会・生徒会の生徒が中心となり準備を進め、スローガンを決め、応援旗づくり、練習計画や内容・方法についても話し合い、取り組んでいきました。朝・放課後の練習、そして全体練習等を重ねながら学級意識、色団の意識・団結が高まり、生徒たちが進んで動いていました。

そして、3年生にとって最後の体育祭に賭ける思いが学校全体にも伝わり、リーダーシップとチームワークにより一体感となり感動の第40回体育祭になりました。競技等に一所懸命の姿は勿論ですが、組体操・ソーラン節では、「気合と躍動の演技」、さらには学年を越えた色団同士、学級での温かい声援やアドバイス、教え合い、応援の声が学校全体に広がっ

ていきました。また、招集や誘導をはじめ係の仕事でも3年生が自分たちで考えたり、機敏にそして責任を持って活動している姿がとても印象的であり頼もしく感じました。まさに、主体的（自分で考え進んで動く）に活動する範を示してくれたことで2年生も意欲を高め、初めての体育祭を体験する1年生も大きな学びができました。この3年生の自ら考え、すすんで行動する姿勢が学校全体の主体性を育てています。また、3年生は、その主体性を部活動で、また修学旅行でも存分に発揮してくれました。修学旅行では、実行委員会が中心となり、お互いに支え合い、助け合い、高め合いながら思い出となる行事を創りあげてくれました。

2年生は、今学期、先輩となりスタートしました。1年次の大沼中での経験を活かし、学習に力が入り、部活動や学校行事などでも1年生の良き目標となり、自分たちで進んで行動したりアドバイスを与えてくれています。また、進路の学習にも力を入れました。進路学習会、高校の教頭先生から高校の学習・生活を知る・学ぶ機会ですらの思いや感じたことでしょう。いよいよ沼中の心臓である2年生は、部活動等でも中心となり「顔」になります。期待しています。

そして、1年生。入学式をはじめ、中学校では、何事にも主体的に取り組んでいくことが大事であるとお話ししてきました。今学期は、上級生の姿を見ながら学んでいくことが多かったと思いますが、早くも上級生から学び、1年生としての主体性を発揮してくれました。それは、日々の授業であり、部活・委員会・係を中心に普段の生活に現れていました。

いよいよ長い42日間の夏休みが始まります。主体的・協働的に取り組むことが充実した結果や成長につながることをお伝えしましたが、私からは、この夏休みの過ごし方をどうすればよいのか3つのことをお話しします。

まず、1つ目は、「学習」についてです。今日、皆さんに担任の先生から通知表が渡されます。ぜひ、観点別評価という部分に注目し、良く見てください。教科の内容が理解できているところ、もう少しであるところ、不十分であるところを理解し、この夏休みを利用して復習してください。そのために学習会の機会等を生かしたり、自分で調べたり、先生や仲間へ聞くなどして解決する、これこそ主体性・主体的な学習です。2学期への大きく変化となり向上につながります。自らの学ぶ姿勢を大事にしてください。

2つ目として、「身体を鍛える」良い機会です。1学期、保護者の方と高校を見学する機会がありました。その時、高校の先生から伸びる生徒は、しっかり食事や生活習慣が整っている生徒ですとお話がありました。身体の成長が著しい皆さんの中学や高校時代、毎日の健康な生活こそエネルギーとなっていくからでしょう。ぜひ、自分で「起きる時間、活動する時間、就寝する時間そして、3食決まった時間の食事」を大事にしていきましょう。何よりこれから生きていく上で健康や体が資本です。継続は、力なりです。

最後に、3つ目、「心を育てる」ことについても取り組めるチャンス、機会です。自然に触れる、読書をする、芸術作品に触れる、ボランティアや地域の活動に参加するなど普段できないことにもすすんで取り組んでみましょう。その際、心に感じることを大事にしましょう。自分を活かしたり、自分の思いや考えを深める機会にもなるでしょう。

皆さん、この夏休みは、御存じのとおり、リオオリンピックも開かれますが、どうぞ、自分自身に頑張った・有意義だったと言える夏休みにしてください。そして自らが安全な生活を送り、大きく成長を遂げた皆さんと2学期に会えることを大いに期待しています。これで1学期終業式の式辞とします。